



報道関係各位

2019年3月29日
日本システム技術株式会社
株式会社大分銀行

日本システム技術と大分銀行が Salesforce Platform を活用した 預り管理業務の共同開発で基本合意

この度、日本システム技術株式会社（本社：大阪市 代表取締役社長 執行役員：平林 武昭、以下「JAST」）と株式会社大分銀行（本店：大分市 頭取：後藤 富一郎）は、国内初*となる Salesforce Platform を活用した預り管理業務（以下「本システム」）の共同開発を行うことについて 2019年2月28日に基本合意いたしました。なお、本システムの本格運用は 2019年度下期を見込んでおります。

*当社の独自調査によるものです。（2019年3月時点）

1. 導入システムの概要

本システムは、金融機関の渉外担当者が顧客から物品・現金等を預り、保管・返却までの業務を効率化、事務堅確化、ペーパーレス化することによるコスト削減を目的としたシステムをパブリッククラウド基盤上にて実現するものです。

担当者により本システムへ入力された情報は、営業店端末とリアルタイムに連携しているため、渉外担当者と事務担当者との間で、効率的に引継ぎを進めることが可能です。さらに、処理状況はパソコン画面でリアルタイムに確認できるため、預り物件の管理面強化や処理漏れ防止に繋げることが可能です。また、預り時や返却時の確認は、タブレット画面上で顧客から電子サインをいただくことで完結でき、受取証（紙帳票）の発行は不要となります。

これらの仕組みにより、本システムにタブレット端末と電子サインを組み合わせ、金融機関における業務の最適化を強力に支援します。

2. 共同開発の背景

JAST は金融機関向け情報システムの開発実績が豊富であり、中でも情報系統合パッケージ「BankNeo」は国内有数の CRM パッケージとして、金融機関に多数の導入実績を有しております。2018年7月には、株式会社セールスフォース・ドットコムとの協業を発表し、パブリッククラウド基盤上で稼働する BankNeo アプリケーションの構築・実装のノウハウを着実に蓄積してまいりました。

大分銀行においても今後はクラウドプラットフォームを活用する方針であり、同行における預り管理業務のシステム化とクラウド対応製品のリリースを目指す JAST との方向性が合致した結果、共同開発の合意に至りました。

3. 見込まれる効果

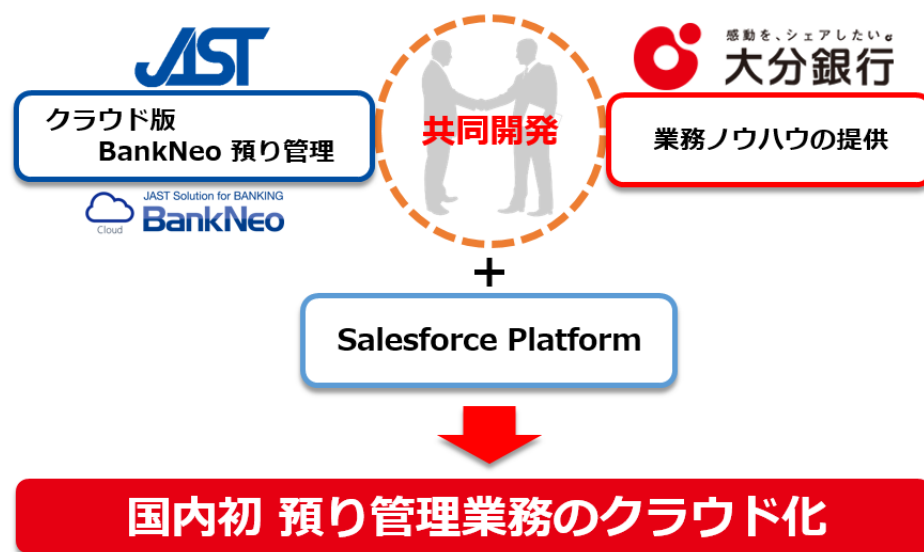
①IT 投資効果の最大化

クラウド基盤での運用のため、ハードウェア保守費やバージョンアップコスト等の削減が可能です。

②スケーラビリティとサービス付加価値の向上

クラウド基盤上で既に利用している各種の業務アプリケーションとの機能連携を、柔軟かつ容易にします。これにより、顧客サービスの付加価値向上を実現します。

<共同開発イメージ図>



※「BankNeo」は、日本システム技術の商標登録です。

日本システム技術株式会社について
完全独立系 IT 企業として多彩な分野で広範なソリューションを提供する日本システム技術は、「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーに顧客・技術・市場の変化に即応できる体制を整え、顧客の成長に貢献しています。同社は、現在急成長を遂げるアジア諸国でも事業を展開しています。詳細は <https://www.jast.jp/> をご覧ください。

株式会社大分銀行について

大分銀行は、『感動を、シェアしたい。』をスローガンに、今後も地域の皆さまへの十分な金融サービスの提供を通じて、地域社会の繁栄に貢献して参ります。詳細は、<https://www.oitabank.co.jp/> を御覧ください。

【 本件に関するお問合せ先 】

日本システム技術株式会社

担当 BankNeo 事業部 小東

TEL: 06-4560-1018 E-mail: bankneo_info@jast.co.jp

株式会社大分銀行

担当 総合企画部 広報グループ 大嶋

TEL: 097-538-7617 E-mail: infor@oitabank.co.jp